

●はじめに●

当地域は中通りの中南部に位置し須賀川市、岩瀬郡、石川郡(1市5町4村)からなり、東は阿武隈山系に、西は奥羽山脈に接し、中央部は概ね平坦地帯となっている。総面積は99,306ha、うち経営耕地面積は17,682haである。

気象条件は、平坦地帯は年間降水量1,300mm、平均気温は12℃と比較的温和で積雪も少ないが、阿武隈山間及び奥羽山間は準高冷地のため気象災害を受けやすい。

交通面では、福島空港をはじめ、東北自動車道、あぶくま高原道路など高速交通網が整備されている。

須賀川・岩瀬地方は水稲、野菜、果樹等の産地が形成されており、石川地方は畜産を中心に中山間の特性を活かした多様な農業が展開されている。

特に、夏秋キュウリは日本一の産地となっており、野菜や花き栽培では大型施設の導入による周年出荷体制を確立する経営体が出てきている。

また、地域資源を有効に活用しながら、「安全・安心」の消費者ニーズに対応した農産物直売や農産物加工・販売等が活発になっている。

●経営体育成



約600名*の認定農業者が各種講座への参加や家族経営協定の締結により経営改善目標の達成に向け努力しています。

●担い手活動



新規就農者は年間10名程度と多く、4Hクラブ活動も積極的で将来の地域リーダーとして期待されています。

●水稲



コシヒカリ、ひとめぼれが8割以上を占める良質米産地で、ほ場整備地区を中心に直播栽培が導入されています。

●野菜



夏秋キュウリを中心に、野菜栽培が盛んです。大型選果施設により出荷調整作業の省力化が図られています。

●果樹



ナシ、リンゴを中心に多品目が栽培され、フェロモン剤利用による環境にやさしい農業に取り組んでいます。

●花き



ユキヤナギ、シンテッポウユリの他、新規参入者によるバラ、トルコギキョウ等が栽培されています。

●畜産



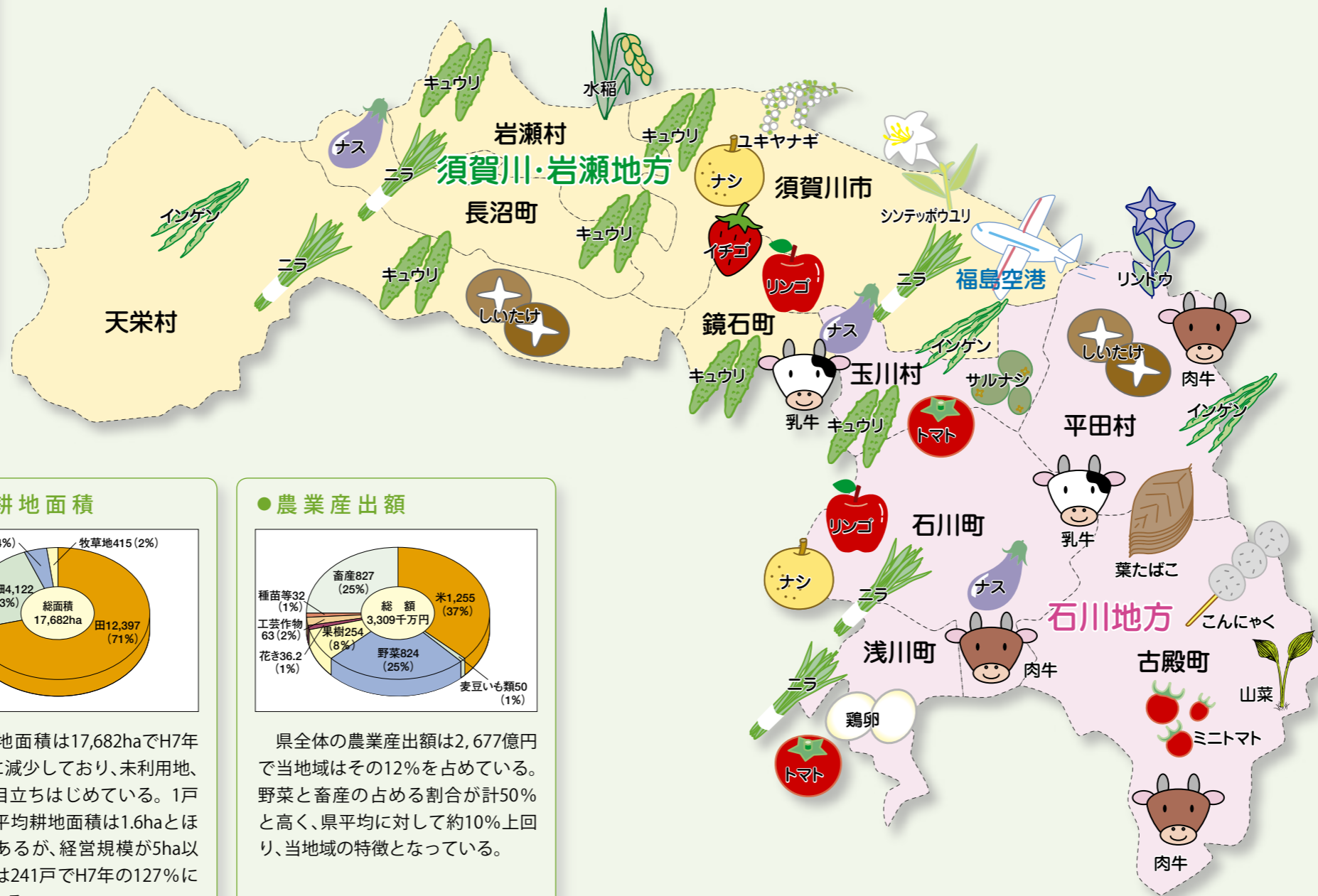
石川地方は県下有数の畜産基地で、肉用牛を始めとする多様な畜産経営が営まれ、大規模経営が増加しています。

●農村環境

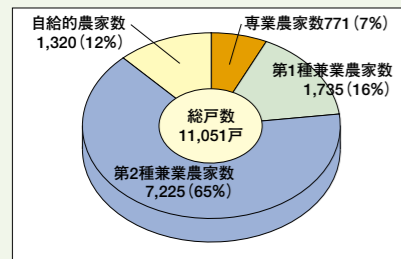


地産池消に向けた農産物や加工品の直売活動が21*の直売所で展開され地域の活性化につながっています。

管内農業の概要



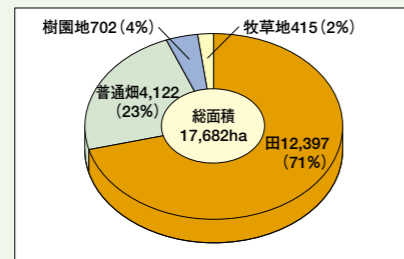
●専業別農家数



総農家数は11,051戸でH7年の94.4%となっている。農業就業人口は16,112人で、65歳以上は全体の48.6%を占める。新規就農者は69%がUターン就農者である。

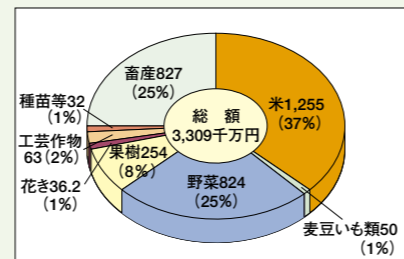
- ・認定農業者 595経営体*
- ・認定就農者 113名*
- ・家族経営協定締結 65戸*
- ・エコファーマー 328名*

●経営耕地面積



経営耕地面積は17,682haでH7年の91.1%に減少しており、未利用地、遊休地が目立ち始めている。1戸当たりの平均耕地面積は1.6haとほぼ同じであるが、経営規模が5ha以上の農家は241戸でH7年の127%に増加している。

●農業産出額



県全体の農業産出額は2,677億円で当地域はその12%を占めている。野菜と畜産の占める割合が計50%と高く、県平均に対して約10%上回り、当地域の特徴となっている。